



原爆の脅威と平和の大切さを伝える作品展を行います 次世代と描く「原爆の絵」展を開催(7/4～7/19)

広島原爆被害を描いた『次世代と描く「原爆の絵」展-高校生と被爆体験証言者による共同制作-』を令和2年7月4日(土)から7月19日(日)までの間、龍ヶ崎市歴史民俗資料館で開催します。

龍ヶ崎市では、平成元年の「核兵器廃絶平和都市宣言」及び平成21年に加盟した「平和市長会議(現:平和首長会議)」の理念に基づき、毎年、核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さを伝えるために、被爆・戦争に関する資料や写真パネルなどを展示し、非核平和推進事業を展開しています。

展示作品は、広島平和記念資料館と広島市立基町高等学校が連携して作成したものです。被爆体験者からの壮絶な体験談を基に、高校生たちが当時の惨状を絵として表現しており、核兵器の残した爪痕の大きさや平和への尊さを後世に伝え、平和な未来を紡いでいくための思いを込めた作品となっています。

※ 展示作品は、広島平和記念資料館から貸出しを受けた複製画です。

■日時	令和2年7月4日(土)～7月19日(日) 午前9時から午後5時まで ※月曜日は休館
■場所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 (所在地:龍ヶ崎市馴馬町2488番地)
■入館料	無料
■その他	【過去の展示作品】 平成29年 写真展「石田壽と長崎-長崎原爆を撮った裁判官」 平成30年 写真展『対馬丸-沖縄戦学童疎開中に沈められた船-』 令和元年 ポスター展『ヒロシマを知ろう!!-8月6日、きのこ雲の下で-』
■資料	企画展『次世代と描く「原爆の絵」展-高校生と被爆体験証言者による共同制作-』 チラシ

担当課	龍ヶ崎市 総務部 法制総務課 総務・選挙係 担当者:岸(きし)・染谷(そめや) 連絡先:0297-60-1513(直通)
-----	--